

## 料理教室の開催

～家庭・地域・学校のつながりを重視した取組の推進～

子どもは家族の愛情に生まれ、学校での多様な活動を通して学び、地域社会の中で人々と触れ合い成長します。

家庭教育の観点からは、子どもたちは日々の生活の中で食事の準備・片付けの手伝いを通して食事の在り方やマナーを身に付け、学校教育の観点からは、給食指導、家庭科の調理実習等の機会を通して食に関する正しい知識を学び、食への興味関心を高めることを目指しています。

日の出町教育委員会では、家庭、学校以外の社会教育の観点からの体験的な食育の一環として、小学校5・6年生を対象に、7月27日、28日に大久野小学校の家庭科室で給食センターの栄養士や調理員による料理教室を実施しました。

マーボー豆腐やワンタンスープの調理方法を学びながら、班全員の力を合わせて給食メニューを再現し、美味しく食べることができました。参加した児童からは「家族にも調理してあげたい」「みんなで調理するといつもの給食よりも美味しく感じる」等の感想を聞くことができました。

